

定例記者会見発言録

日 時：令和 5 年 5 月 31 日（水）14 時～

場 所：伊達市役所東棟 4 階 401・402 会議室

出 席：市長、副市長、総務部長、未来政策部長、財務部長、農政課長、商工観光課長、生涯学習課主幹

報道機関：福島民報社、福島民友新聞社

発表項目：市長から下記の内容について、別紙資料により説明

資料 1 令和 5 年伊達市議会定例会第 4 回定例会議提出議案の概要

資料 2 伊達市保原歴史文化資料館企画展「亀岡正元文書群の世界」を開催します

資料 3 伊達市梁川美術館企画展「日本近代画ってなに？糖業協会コレクション展」を開催します

資料 4 令和 5 年 4 月に発生した凍霜害による農作物被害への緊急支援を行います

《質疑応答》-----

令和 5 年伊達市議会定例会第 4 回定例会議提出議案の概要

■令和 5 年度伊達市一般会計補正予算（第 2 号）について

記 者 プレミアム付商品券発行事業について、プレミアム率 50%で、例で 5,000 円となっていますが、販売は 5,000 円単位で販売するのでしょうか、それとも単位は設けずに広く販売するという事でしょうか。

市 長 市民一人ひとりに 1 セットが行きわたるよう 5,000 円単位での販売を考えています。紙の 35,000 セットについては、昨年度の実績で 30,000 セット程度の販売があったことを踏まえ設定しました。申し込み頂いた時点で、紙セットが売り切れという事になった場合は、デジタルセットを紙に回して販売をしていく事で考えています。

令和 5 年 4 月に発生した凍霜害による農作物被害への緊急支援を行います

■果樹共済掛金支援事業について

記 者 市単独事業の（2）果樹共済掛金支援事業について、補助対象の欄にある「令和 5 年度に申請する市内果樹生産業者」の申請というのは、果樹共済への申請を令和 5 年度にした方という認識でよろしいでしょうか。

農政課長 令和 5 年度に果樹共済に加入した方が対象となります。今回加入された方については、来年度に霜被害にあわないように備えるための加入となり、その掛金の一部について、市で補助を行うものです。

記 者 今年度、既に共済に加入している方も含め、これから加入する方も対象になるという事でよろしいでしょうか。

農政課長 そのとおりです。

市長 果樹共済は単年度ごとの掛金ですが、昨年度に引き続き加入をされる方、今回の凍霜害を踏まえ新たに加入する方も含め、支援していきたいと考えています。

■凍霜害の市内の被害状況について

記者 被害が集中している地域、作物があればお教えてください。

農政課長 被害面積等につきましては、5月20日付けの新聞報道にあったとおりですが、市内の農地19.9ヘクタールになります。そのうち30%以上の被害が想定されているところが4.2ヘクタールになります。

被害が主に確認されている所ではありますが、桃については伊達地域の伏黒、梁川地域については五十沢、東大枝、保原地域は上保原、霊山地域が掛田、月舘地域の御代田となります。

リンゴについては梁川地域の栗野、東大枝、月舘地域の御代田となります。

柿は梁川地域の五十沢で被害が確認されています。

桜桃につきましては、伊達地域の箱崎および月舘地域の御代田となります。

西洋梨は伊達地域の伏黒と箱崎で被害が確認されています。

主に五十沢、東大枝、御代田地区は阿武隈川や広瀬川の川沿いの少し低くなった農地に被害が確認されているところであります。

市長 主に桃の被害が多いということです。

記者 2年前の凍霜害に比べると被害は少なかったという印象でしょうか

市長 2年前に比べると、被害は大きくなかったという印象を受けています。